

# 鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

## 【グループ①】

### 【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

なにを？	どのような？	だれが？	いつ？			さらに？
<p>取組内容</p> <p>課題：災害時要支援者（避難行動要支援者）への支援の在り方や個人情報の取扱い</p> <p>↓</p> <p>アクション：要配慮者の要支援者と支援者が合同で訓練できるとよい。</p>	<p>まちづくり上の効果</p>	<p>例)自治会/民児協/地区社協/まちぢから協議会等</p> <p>・民事協と自治会で連携 ・継続性を高める</p>	<p>短期 R6～</p> <p>・3月防災訓練で炊き出し等を実施 ・要配慮者へ声掛けを行う</p>	<p>中期 2～3年後</p>	<p>長期 5年後</p>	<p>防災上の効果</p> <p>課題となっている個人情報の取扱いなども確認することで、災害時の支援を円滑にできる。</p> <p>「無事です」黄色いタオル・カードなど現在も実施している ⇒安否確認</p>
<p>課題：若い世代の自治会への参加が少ない、担い手不足（いつものメンバー）</p> <p>↓</p> <p>アクション：新しく来た方への入会の声掛け強化</p>	<p>・規模が大きいと動きづらいが、行事の時に顔出しをするなど小さなことの積み重ね ・挨拶を重ねる、まずは顔を知ってもらうことが大切 ・輪を広げるきっかけになる ・自治会の良さを感じてもらう</p>	<p>・自治会が実施</p>	<p>クリーンキャンペーンなどの機会</p>			<p>自治会加入者が増えれば災害時の支援者が増える</p>
<p>課題：消防施設の取扱い ・消火栓がわかりにくい ・消火用ホースの使い方 ・防火水槽のメンテナンス</p> <p>↓</p> <p>アクション：消火栓等の地域資源や使い方の確認</p>	<p>・地域資源の場所や使用方法を確認 ・学校でもできるようになるとよい</p>	<p>・まちぢからが自治会に声掛け ・自治会が実施 ・消防団の連携の依頼</p>	<p>・年に2回の訓練とは別に、各自治会で1回やってみる ・すぐに始められるけど、みんなが使えるようになるには時間がかかる</p>			<p>・消火栓は水圧が強く訓練しないと本番で使用できない ・災害時の水が重要 ・井戸が多いため、場所も確認生活用水として使える</p>

# 鶴嶺西地区 防災もまちづくりマップ グループ①

【まちづくりのキャッチフレーズ】

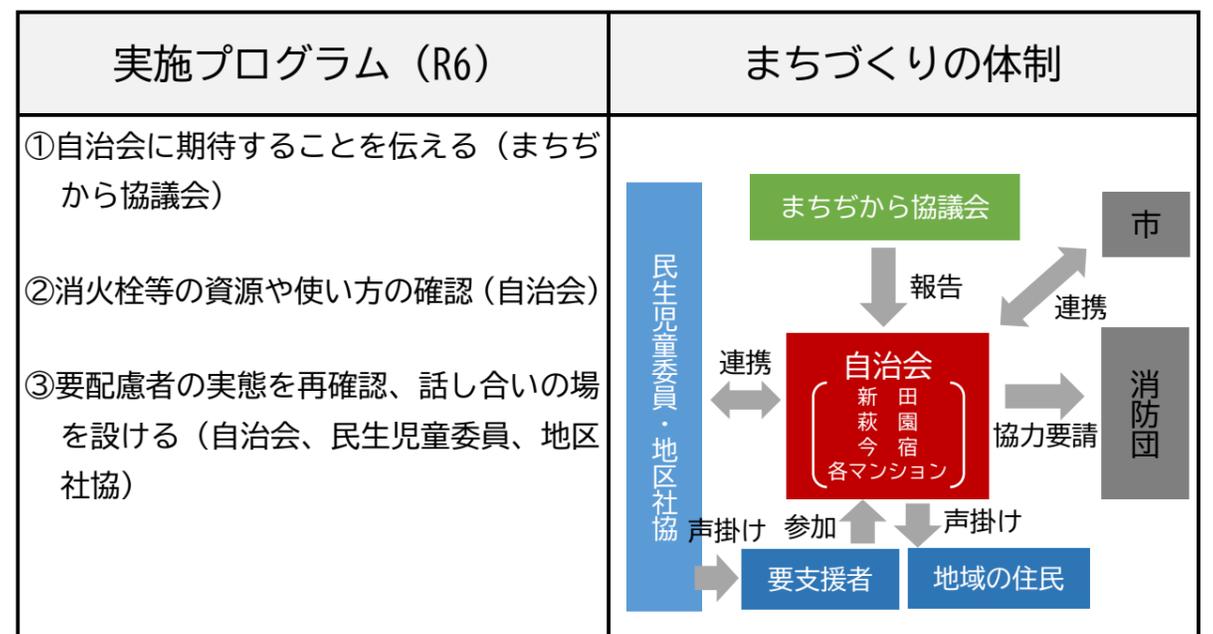
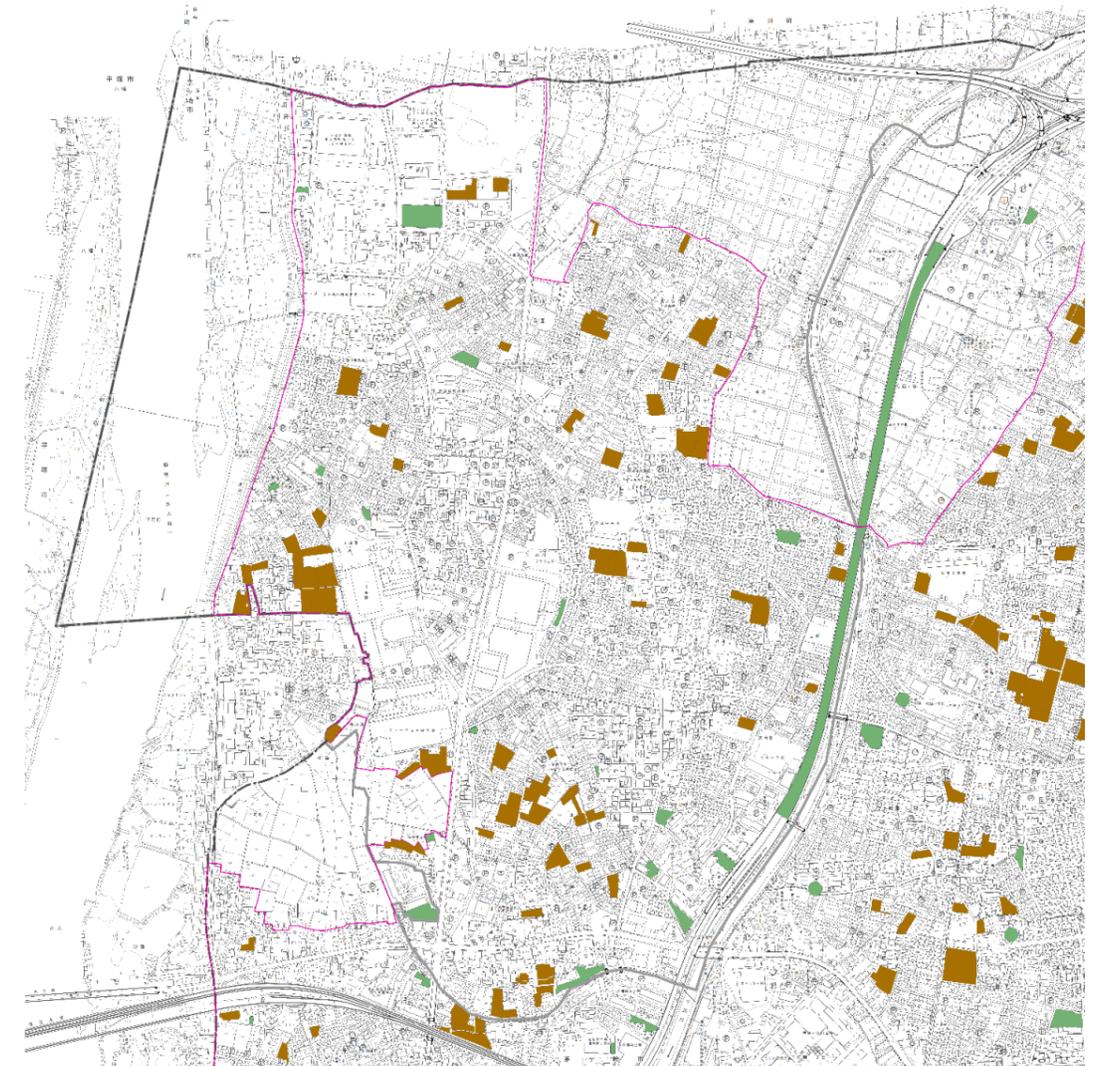
訓練すれば、助かる！

【グループワークのまとめ】

まちの魅力・資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>①宅地が増え、若い世代が増加</li> <li>②アルパック等工場と共存</li> <li>③小出川の河川敷、富士山・散策路</li> <li>④お寺・農地などオープンスペース多い、ビニールハウスも活用可</li> <li>⑤お店が多い（災害時の食料として活用）</li> <li>⑥井戸が多い</li> </ul>
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①若い世代の自治会への参加少ない</li> <li>②地域活動の担い手の高齢化</li> <li>③道路の幅が狭い、行き止まりが多い</li> </ul>
防災上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①浸水の危険性が高い</li> <li>②避難行動要支援者の支援</li> <li>③消火設備など地域資源の場所とその使い方の確認</li> <li>④水害時の地区の避難所が円蔵小となり遠い</li> </ul>

【アクションプラン】

実施団体	取組内容	実施時期 (短・中・長)
① まちぢから協議会	・今日の話し合い結果を地域に広げていくこと、どう伝えていくか	短期
② 自治会	・地域資源の場所の確認	短期
	・新しく入会される方への声掛け	短期
	・消火ホース、消火栓使い方訓練	短期
	・消防団との連携	短期
③ 自治会、民生児童委員、地区社協	・避難行動要支援者に関する連携強化	短期
	・避難行動要支援者に訓練参加の呼びかけ	短期
④ 市と連携	・避難所の運営訓練（初期は混乱、地域と市の連携）	中期
	・垂直避難を含めた避難の考え方や避難場所の検討	中期



# 鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

【グループ②】

## 【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

なにを？	どのような？	だれが？	いつ？			さらに？
取組内容	まちづくり上の効果	例)自治会/民児協/地区社協/ まちぢから協議会等	短期 R6～	中期 2～3年後	長期 5年後	防災上の効果
<p>(取組みのポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニケーションをよくして、自分のまちを理解することが重要</li> <li>・このため世代を超えた参加のきっかけづくりを行う</li> <li>・取組みのポイントとしては、自治会の活動を中心にするが、これまでの大人中心の取組みから子ども中心の取組みを行う</li> </ul>						
<p>(これまでの課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会だけでは運営が大変</li> <li>・自治会イベント等の周知が十分でない</li> </ul>						
<p>①周知や必要なサポート支援のために各種団体に声かけをする</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;これまで&gt;</p> <p>地域の活動団体(地区社協や民児協など)から自治会への協力依頼は多くあった</p>  </div> <div style="text-align: center;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;これから&gt;</p> <p>自治会から各種団体に周知や運営支援等の声かけを行い、連携体制を深める</p>  </div> </div>						
+						
<p>②参加者が一緒に準備できる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや親子の「やりたい」ことができる場所を自治会が提供する</li> <li>・自主的に参加することで、自治会との顔の見える関係性に気付くことができる</li> </ul> <p>例えば、焚火➔広場や神社で焚火ができるよう消防との協議等を自治会が行い、参加者はキャンプ感覚で参加 焼き芋➔家庭菜園の野菜を持ってきてもらい焚火で焼く 消火訓練➔最後は焚火を消火訓練 ※季節が良いときは、防災キャンプとして火つけや炊き出しのテクニックを学ぶ</p>						
			<p>基本的に自治体の取組みとする 短期実施を目指す</p>			<p>顔つなぎができ、災害時の活動に役立つ</p>

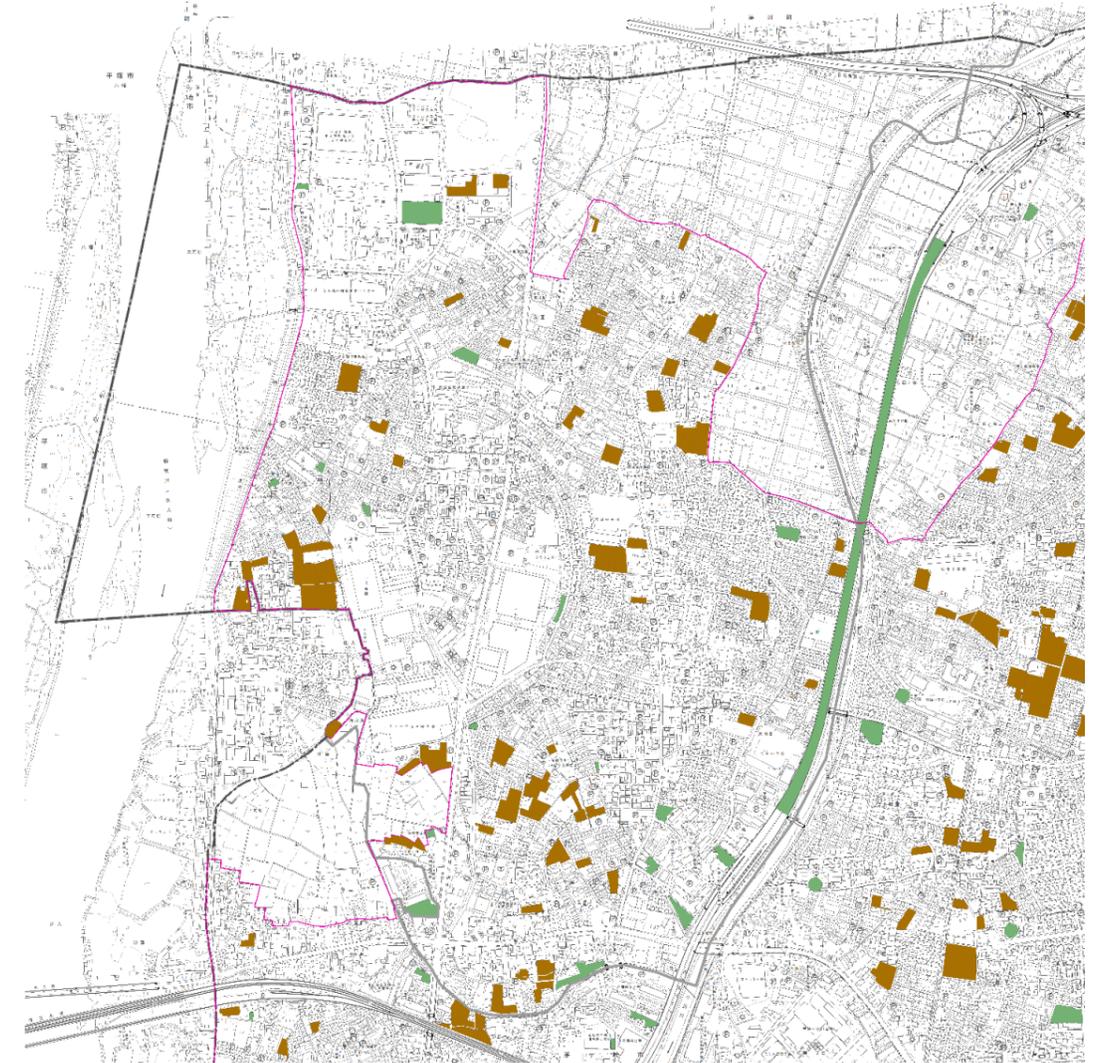
# 鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ②

## 【まちづくりのキャッチフレーズ】

つながろう、あなたが主役のまちづくり

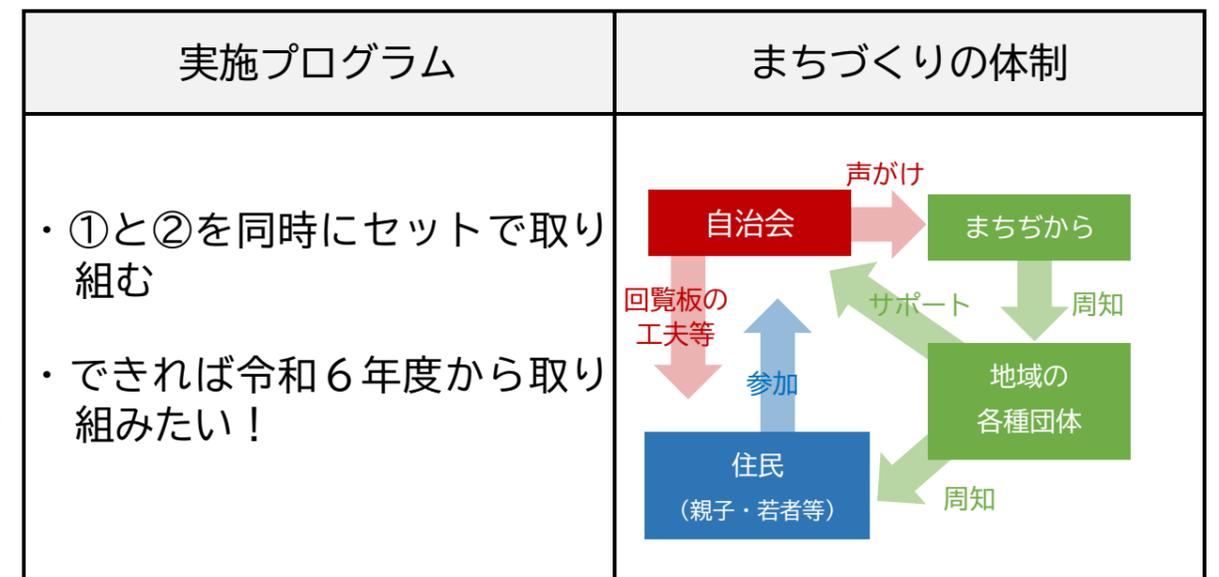
## 【グループワークのまとめ】

まちの魅力・資源	地域で活動している方同士で顔の見える関係性ができている
まちづくりの課題	活動の担い手不足
防災上の課題	居住者のつながりや顔の見える関係性は十分でない



## 【アクションプラン】

実施団体	取組内容	実施時期 (短・中・長)
① 自治会	・自治会主催のイベントのときには、周知や運営サポートについて、各種団体に声かけを行う	短期
② 自治会	・親子や若い世代の「やりたい」ができる場づくりや参加型のイベント 例：焚火、やきいも、餅つき+防災訓練、防災キャンプ など	短期



# 鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

## 【グループ③】

### 【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

なにを？	どのような？	だれが？	いつ？			さらに？
取組内容	まちづくり上の効果	例) 自治会/民児協/地区社協 /まちぢから協議会等	短期 R6～	中期 2～3年後	長期 5年後	防災上の効果
①逃げ道が分かるマップを作成する →逃げ地図	①子供の地域学習になる(大人も) 障がい者のサポートになる	①みんなでつくる(主にまちぢから や自治会が中心か)	①すぐに実施			①逃げやすくなる たくさんの方が助かる
②各団体間の連携	②あらゆる活動に効果あり	②自治会が中心になる 他の自治会との連携も図る	②組織づくりを しっかりと実施			②コミュニケーションを図りやすくなる 課題意識のある人を増やす
③まちあるきを行う →防災マップづくりやオリエンテー リングを併せて行ってもいい	③地域のことが分かる	③社会福祉協議会(地区社協) 地域包括支援センター	①、②後に活動 を進める			③消火栓など防災資源を知ることが できる
④みんなが楽しめる防災イベントを 企画する  【例】 子ども食堂で防災食を食べる 自然の中で食べられるものを探す (川のコイを食べてみるなど)	④防災に関心のない人も来る	④子ども食堂やお寺と連携  【例】 サッカー・野球のスポーツ団体など との連携	①、②後に活動 を進める			④結果的に防災に触れる 災害時に食料に困らない

# 鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ③

【まちづくりのキャッチフレーズ】

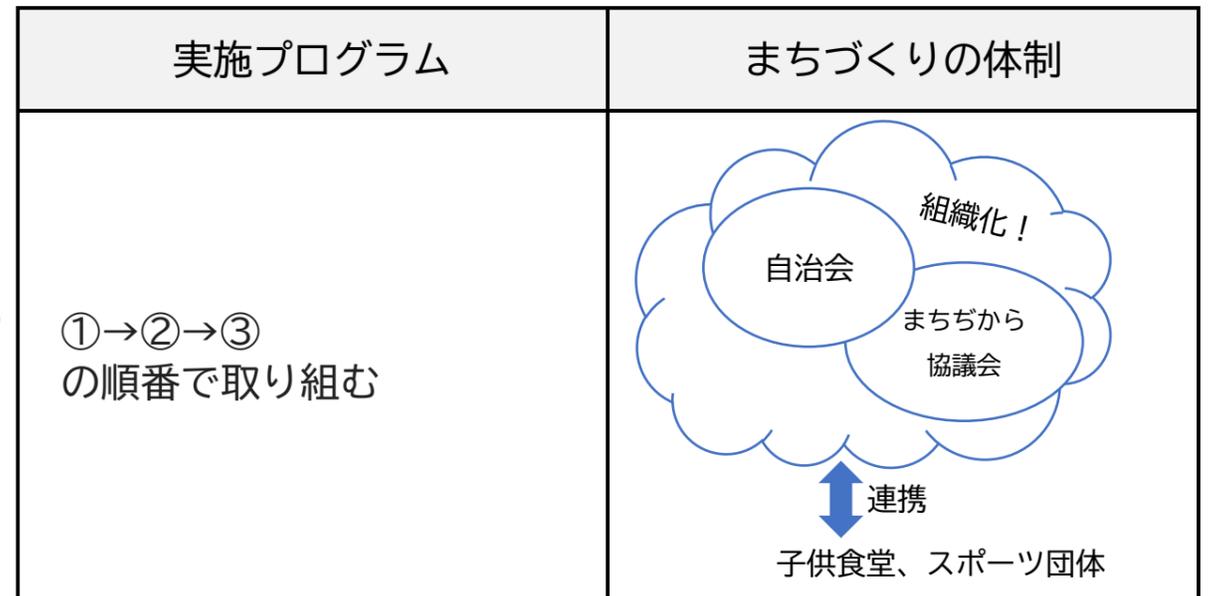
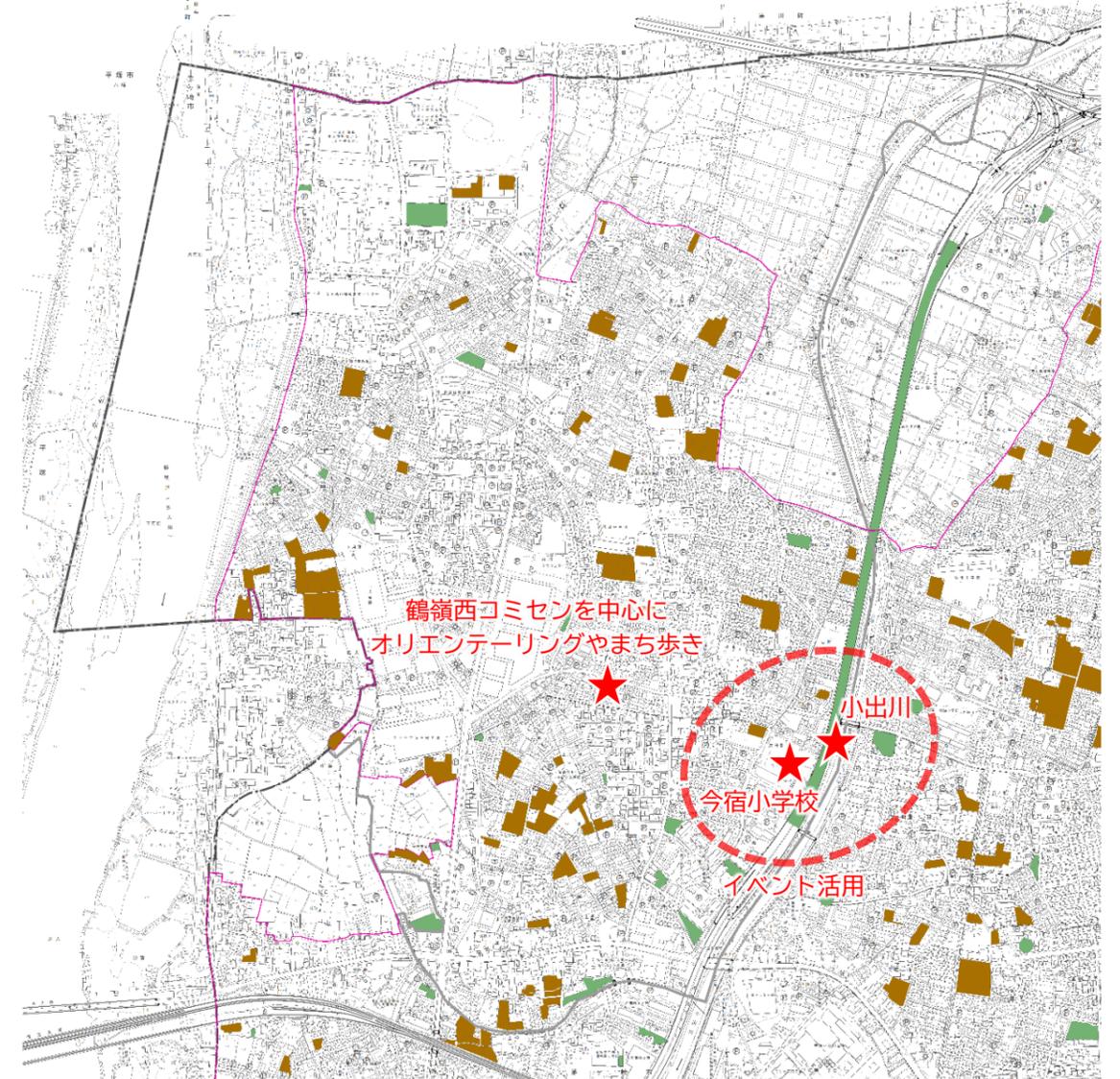
ONE 鶴嶺西地区 ～住民連携、幅広い世代で同じ方向を向こう!!～

【グループワークのまとめ】

まちの魅力・資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が暮らしやすい</li> <li>・次の活動に活かせる団体が既にある</li> <li>・公園や広場が多く活動できる場がある</li> <li>・川や静かな住宅街など暮らしが豊か</li> </ul>
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化や日頃の活動に若い人がいない</li> <li>・幅広い世代の<u>コミュニケーション</u></li> <li>・<u>団体間の連携</u></li> <li>・<u>コロナ後の活動復活</u></li> </ul>
防災上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道が狭くデコボコ、下水道などのインフラ整備</li> <li>・住宅街の密集と火災の危険性</li> <li>・住民の防災意識が高くない</li> </ul>

【アクションプラン】

実施団体	取組内容	実施時期 (短・中・長)
自治会、まちぢから協議会等	各団体との情報共有・連携→組織化	① 短・すぐに! (5月頃)
各団体中心に (共催)	地域の方々を巻き込んで まちあるき、防災マップづくり、オリエンテーリングを行う	② 短
子ども食堂・スポーツ 団体+自治会・まちぢ から協議会	みんなが楽しめる防災イベントを開催する ・防災を目的としない楽しいイベント ・防災食堂や自然の中で食べられるものを探す(川のコイを 食べてみるとか)	③ 短



# 鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

## 【グループ④】

### 【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

なにを？	どのような？	だれが？	いつ？			さらに？
取組内容	まちづくり上の効果	例) 自治会/民児協/地区社協 /まちぢから協議会等	短期 R6～	中期 2～3年後	長期 5年後	防災上の効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな会社か知るための会社訪問 (アルバック祭、アルバックテクノの花見に模擬店出店。主催・共催で参加するか。)</li> <li>・翔(しょう)の会、自治会イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場との連携 (どんな会社か資源となるものがあるかを知る)</li> <li>・外国人労働者の情報確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぢから協議会 (小さいネットワークづくりから始め、段々大きくしていく。コミュニティを広げていく。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場への会社訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬店出店!</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場との連携</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い家族の取り込み</li> <li>・地域との連携に向け、消防団にアプローチする</li> <li>・子どもの居場所づくり</li> <li>・お寺で子ども食堂をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者の取り込み。40代、子どもに自治会に入ってもらおう。</li> <li>・アパート住人が誰か分かる</li> <li>・自治会のイベントに若い世代、子どもの親に参加してもらおう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぢから協議会 →子どもの夏休みの居場所づくり</li> <li>・自治会 →イベント実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団へのアプローチ</li> <li>・子どもの夏休みの居場所づくり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団との連携</li> <li>・親・学校との関係づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に役立つ関係づくり</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難行動の訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぢから協議会</li> <li>・自治会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年続ける</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からの備え</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の勉強 (過去の災害について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の歴史を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぢから協議会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等と連携して実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の歴史を知る</li> </ul>

# 鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ④

【まちづくりのキャッチフレーズ】

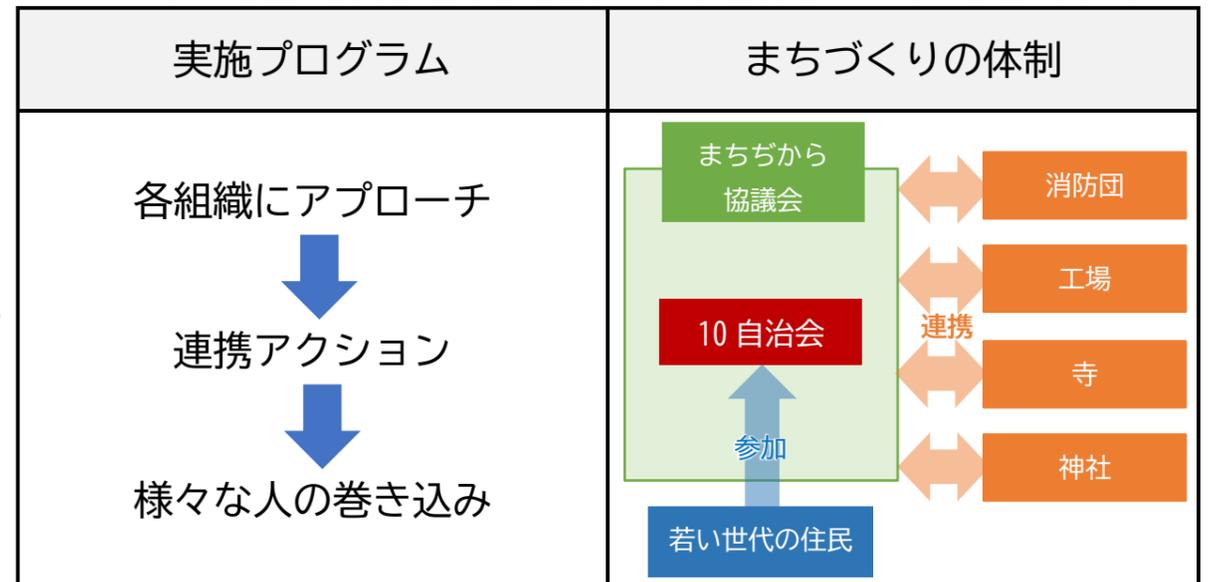
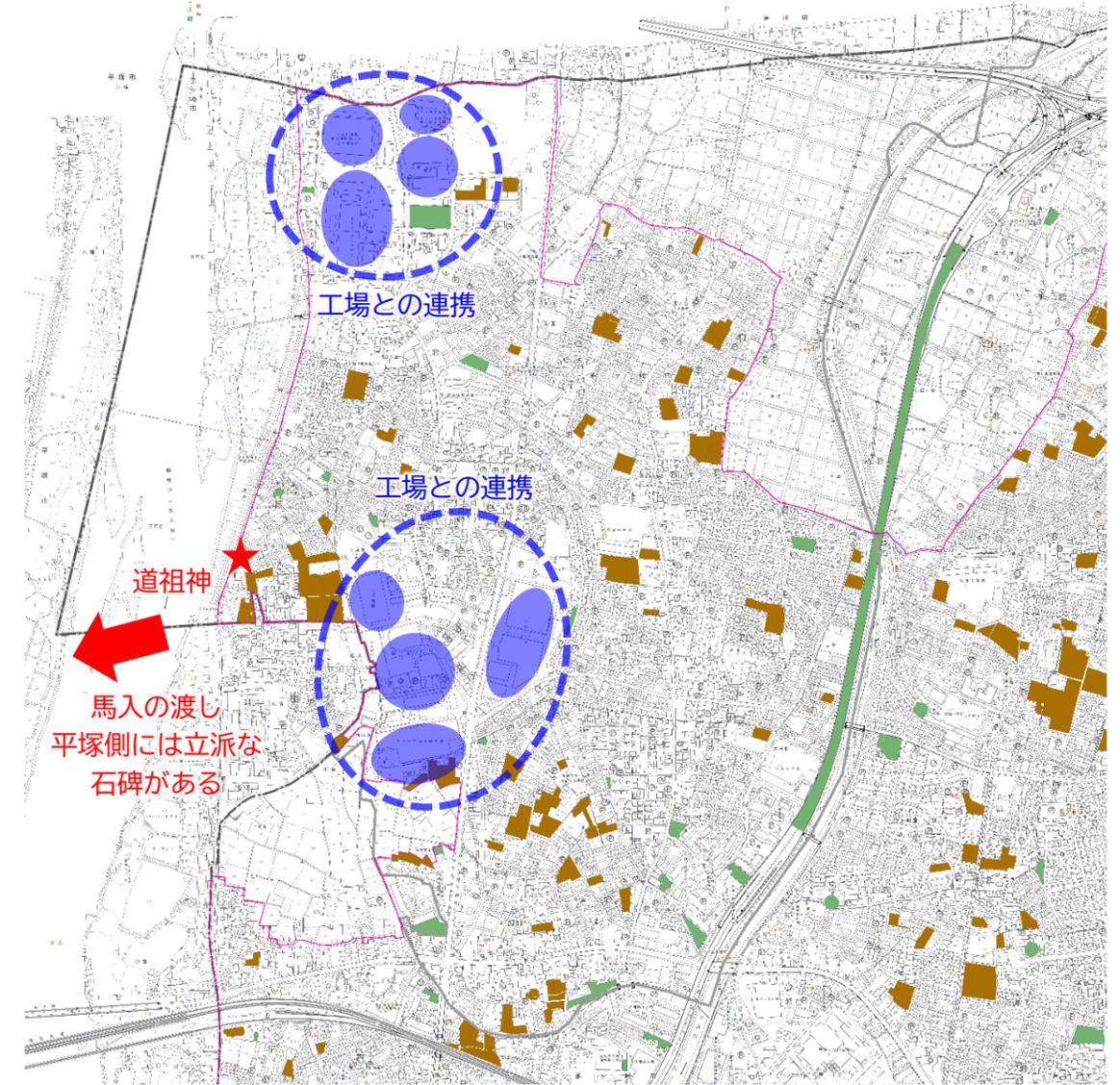
小さなネットワークから絆づくり

【グループワークのまとめ】

まちの魅力・資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世帯・子育て世代が増加</li> <li>・工場が多い</li> <li>・生産緑地・畑</li> <li>・歴史</li> <li>・川沿いの景色が良い</li> </ul>
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・中学生との連携</li> <li>・民生委員と自治会の連携</li> <li>・情報の共有</li> <li>・近隣住民と連携</li> </ul>
防災上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害弱者の情報共有</li> <li>・自治会ごとに情報管理の方法や基準が異なる</li> </ul>

【アクションプラン】

実施団体	取組内容	実施時期 (短・中・長)
まちぢから協議会・萩園自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社訪問</li> <li>※まずは萩園自治会からアルバックにアプローチ</li> <li>・模擬店出店</li> </ul>	短期 (R6年度)
まちぢから協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の勉強会</li> <li>・文化資料館の活用</li> </ul>	中期 (2～3年)
各自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団へのアプローチ</li> </ul>	短期 (R6年度) 反応を見て実施



【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

なにを？	どのような？	だれが？	いつ？			さらに？
取組内容	まちづくり上の効果	例) 自治会/民児協/地区社協 /まちぢから協議会等	短期 R6～	中期 2～3年後	長期 5年後	防災上の効果
鶴嶺西地区の特性を考慮した取組みを考える 「風水害×戸建て住宅×高齢者（独居） ⇒いかに命を守るかを考える！」						
重点的な 水害時の避難場所の検討 ⇒環境事業センター、 アルバックなど	高齢独居の円滑な避難支援と 避難場所の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会</li> <li>・タクシー会社</li> <li>・民間企業・ケアセンター などとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔見知りを作る</li> <li>・体制を考える</li> </ul>			円滑な避難支援体制が構築され、 地区内の死者数はゼロに！
防災対策 周知キャンペーンの実施 ・家具転倒防止 ・耐震補強 ・感震ブレーカーなど 家庭でできる対策周知		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各主体</li> <li>・市との協力</li> <li>・地区社協での周知</li> </ul>	既存 イベントで の周知			既存イベントの一コマで周知する ことで、関心度が低い方にも適切 に情報を届ける
情報伝達方法の検討 ・防災ラジオ：情報過多 ・LINE：通知が来る		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市との協力</li> </ul>			住民に必要な情報が届く	
かまどベンチ・ベンチトイレ の設置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市</li> </ul>	公園新規整備・改修時に設定を検討			災害時に使用できる

# 鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ⑤

【まちづくりのキャッチフレーズ】

まかせて「安心」まちぢから

【グループワークのまとめ】

まちの魅力・資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山が見える</li> <li>・川の桜がきれい</li> <li>・平坦な地形</li> <li>・野鳥が多い</li> </ul>
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が高い</li> <li>・新規居住者とのコミュニケーション不足 ⇒新旧住民の一体感が必要</li> </ul>
防災上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所・避難場所の縦割り（地震・津波・風水害）</li> <li>・地震・水害のリスク</li> <li>・木造住宅が多い</li> </ul>

【アクションプラン】

実施団体	取組内容	実施時期 (短・中・長)
① まちぢから 自治会 等	高齢・障がい独居の 水害時の円滑な避難に向けた体制づくり	短期から
② 個人	近隣と仲良くする	短期から
③ 各主体	各イベントでの防災周知 PR (子ども会、昼食会、地区社協イベントなど)	短期から

